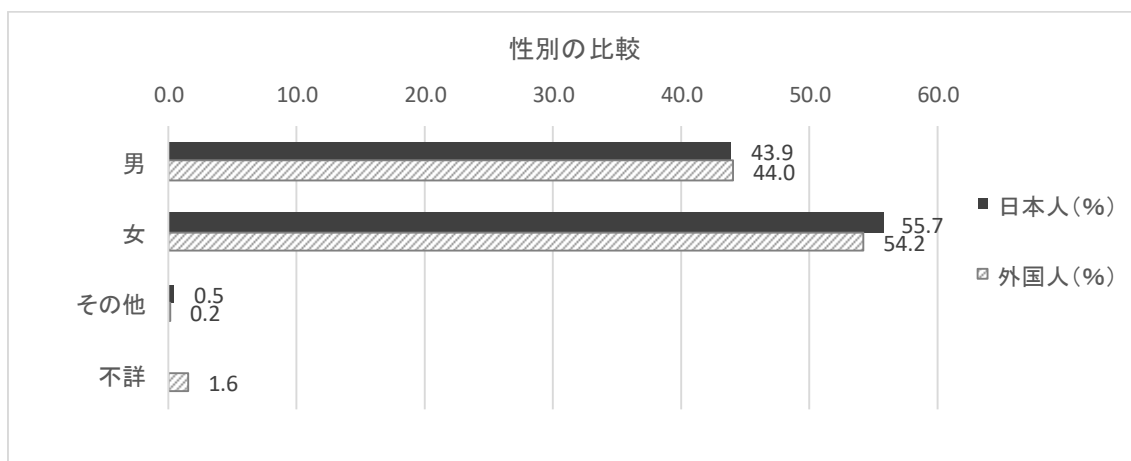


2020年の日本人調査と外国人調査の一部質問結果の比較

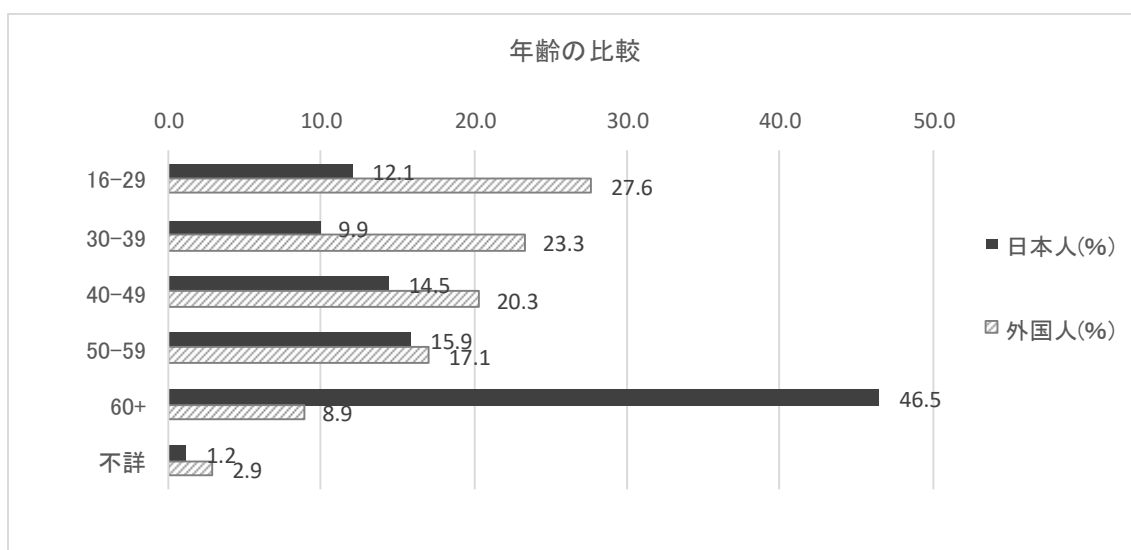
ここでは、日本人調査と外国人調査で比較が可能な一部の質問の結果について、回答結果を比率で比較する。

性別（日本人調査 問1 / 外国人調査 問1）



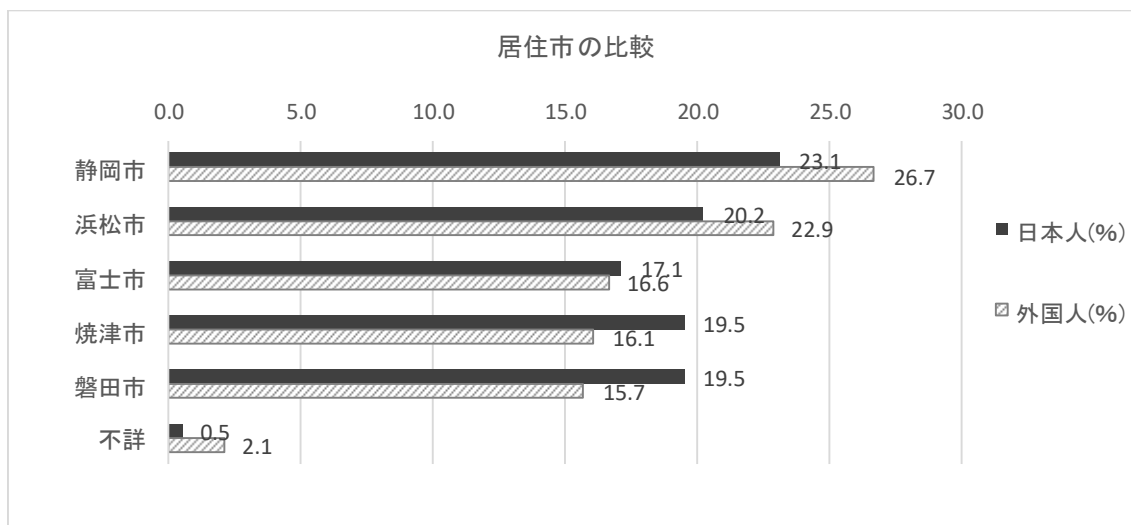
日本人調査では男性が43.9%、女性が55.7%だった。一方、外国人調査でも男性が44.0%、女性が54.2%となっており、日本人調査と外国人調査で回答者の男女比率はほぼ近似している。

年齢（日本人調査 問2 / 外国人調査 問2）



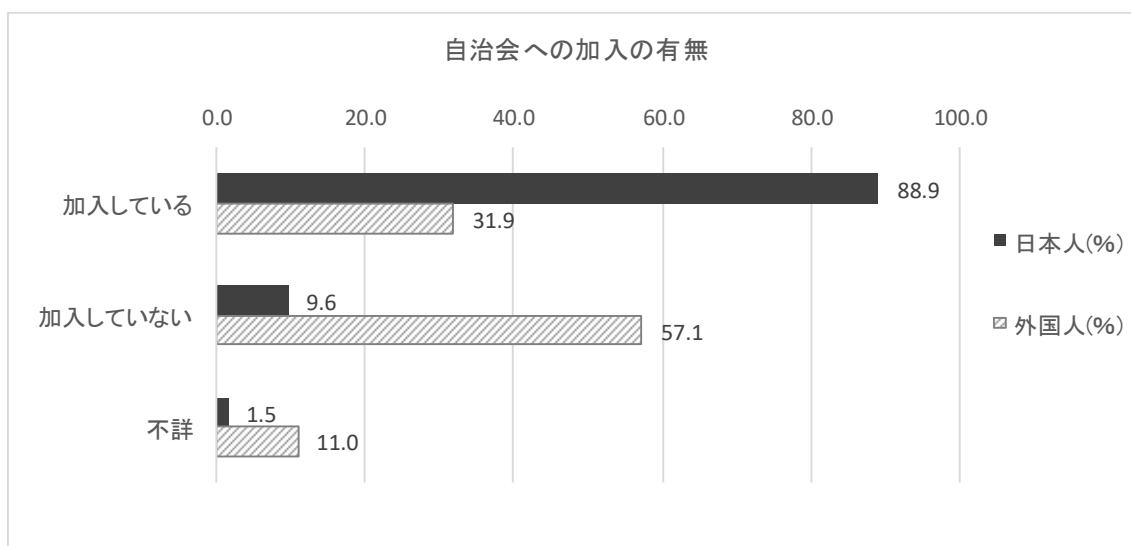
日本人調査では60歳以上が46.5%を占めるが、外国人調査ではわずか8.9%に過ぎない。一方、16-29歳の若い層は日本人調査では12.1%だが、外国人調査では27.6%を占める。外国人調査の回答者は若い層が多いことが分かる。

居住市（日本人調査 問3 / 外国人調査 問7）



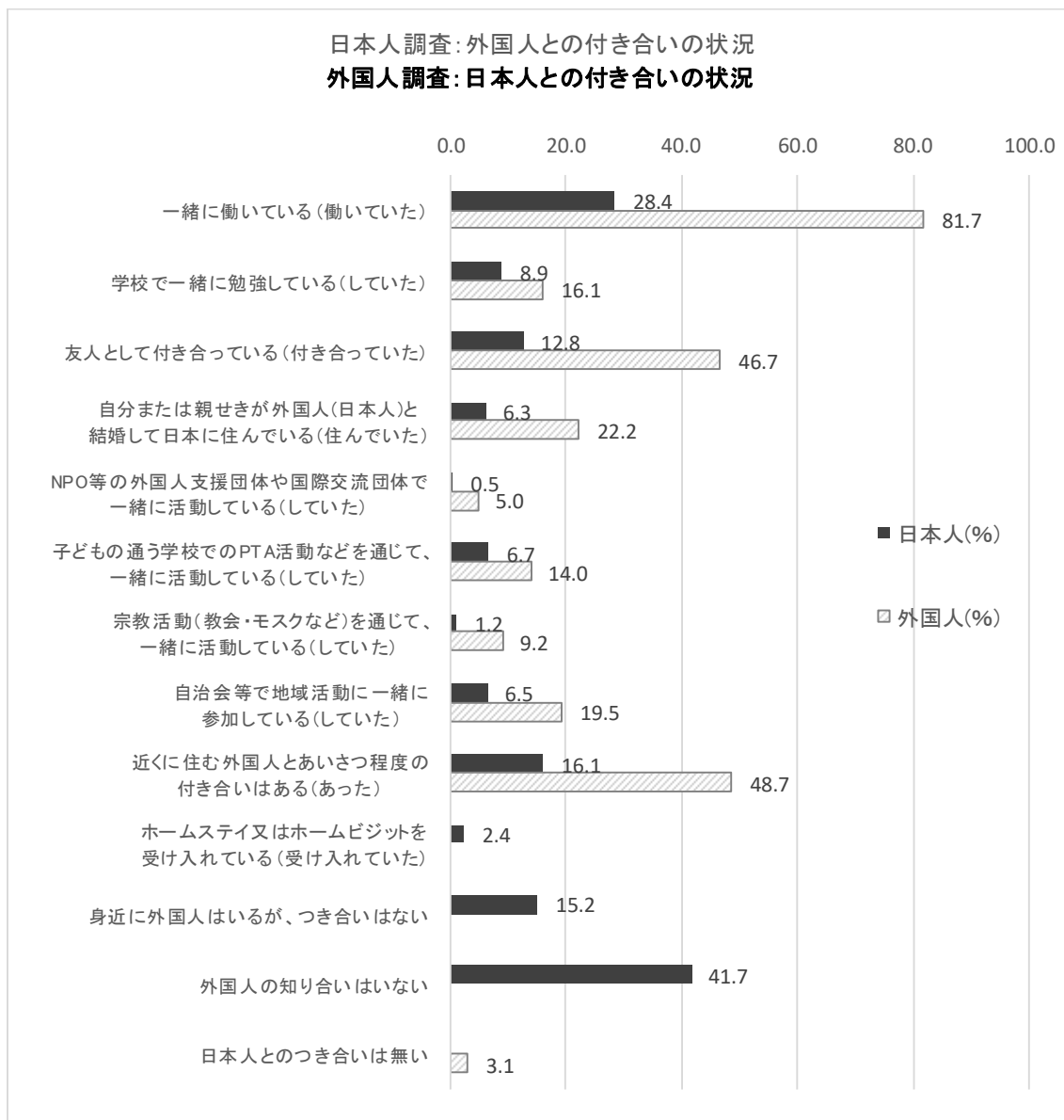
日本人調査では静岡市の居住者が23.1%と他より少し多いが、浜松市、焼津市、磐田市の居住者が約2割で、富士市の居住者が17.1%と少し少ない。一方、外国人調査では静岡市の居住者が26.7%と最も多く、浜松市の居住者が22.9%でそれに続く。富士市、焼津市、磐田市の居住者は16%前後となっている。外国人調査では静岡市と浜松市の居住者の占める比率が若干高い点が日本人調査との違いになる。

自治会への加入の有無（日本人調査 問4 / 外国人調査 問33）



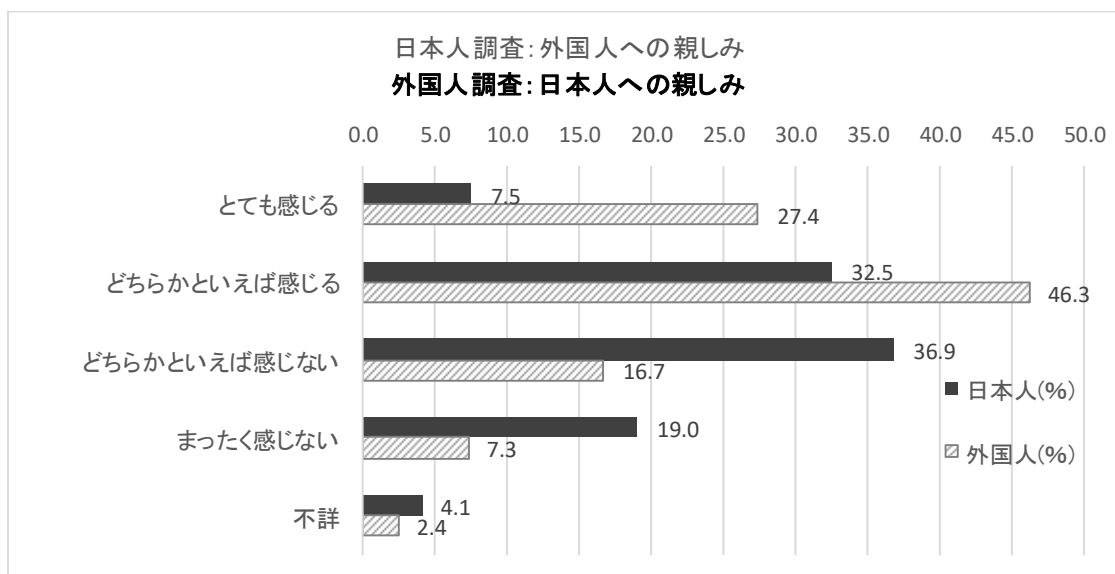
自治会への加入は日本人調査と外国人調査で顕著な差が認められる。日本人調査では自治会加入者が88.9%とほぼ9割を占めるのに対し、外国人調査では自治会加入者は31.9%と3割程度である。加入していないとの回答は日本人調査では9.6%でほぼ1割だが、外国人調査では57.1%でほぼ6割に達する。

外国人（日本人）との付き合い（日本人調査 問5 / 外国人調査 問9）



日本人調査では外国人との付き合いの状況を尋ね、外国人調査では日本人との付き合いの状況を尋ねた。結果を対比させてみると、日本人は「外国人の知り合いはいない」が41.7%で最も多いが、外国人は「一緒に働いている（働いていた）」が81.7%で最も多い。「友人として付き合っている（付き合っていた）」は日本人調査では12.8%だが、外国人調査では46.7%と半数近い。また、「近くに住む外国人（日本人）とあいさつ程度の付き合いはある（あった）」は日本人調査では16.1%なのに対して、外国人調査では48.7%となっている。

外国人（日本人）への親しみ（日本人調査 問6／外国人調査 問10）

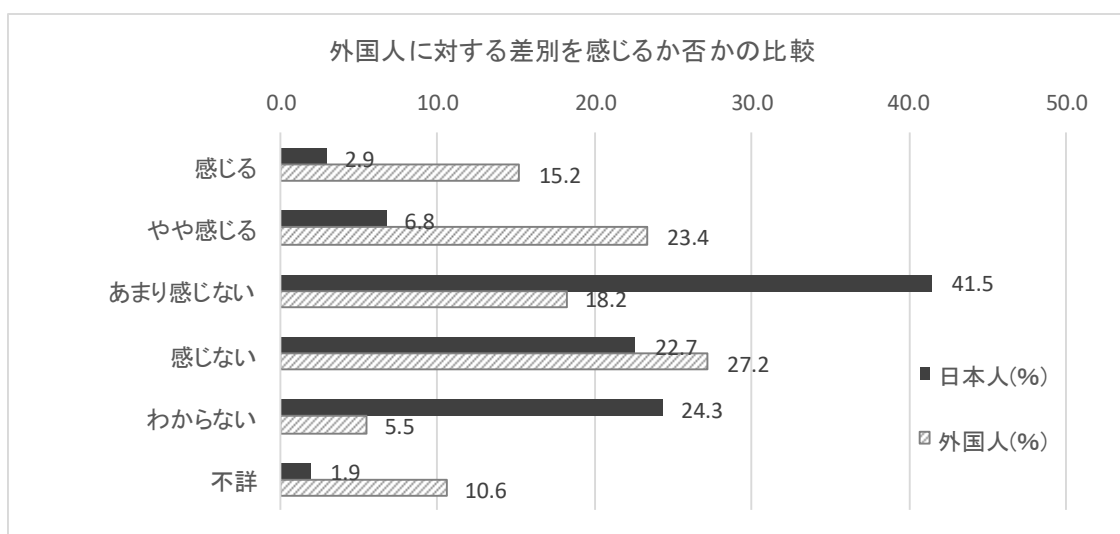


日本人調査では、「どちらかといえば感じない」が36.9%で最も多い一方、「どちらかといえば感じる」も32.5%で近似している。しかし、肯定的印象（「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）が40.0%なのに対し、否定的印象（「どちらかといえば感じない」と「まったく感じない」の合計）は55.9%であり、否定的印象を持つ人のほうが多い。

一方、外国人調査では「どちらかといえば感じる」が46.3%で最も多く、「とても感じる」が27.4%でそれに続く。肯定的印象は73.7%でほぼ4人に3人であり、否定的印象は24.0%で4人に1人である。

日本人側は外国人に対して否定的印象を持つ人が多いのに対して、外国人側は日本人に対して肯定的印象を持つ人が多いことがわかる。

外国人に対する差別を感じるか否か（日本人調査 問9／外国人調査 問11）



外国人に対する差別を感じるかどうかについて、日本人調査では「あまり感じない」との回答が41.5%で最も多かった。「感じない」の22.7%と合わせると、ほぼ3人に2人に相当する64.2%が差別を感じないと回答している。一方、外国人調査では「感じない」との回答が27.2%で最も多かったものの、「感じる」が15.2%、「やや感じる」が23.4%で、計38.6%が差別を感じる旨を回答している。つまり、ほぼ3人に1人が外国人に対する差別を感じていることになる。日本人調査では「感じる」が2.9%、「やや感じる」が23.4%で、差別を感じる人は26.3%となっている。外国人調査の38.6%と比較すると、12.3ポイントの開きが認められる。